



作品名:「明日へのメール」(第10回沖縄ねりんピックかりゆし美術展 写真の部 銅賞)

作成者:宮里 衛さん(那覇市)

目次

- 2 新年のごあいさつ
沖縄県民生委員児童委員協議会
会長・副会長を決定し、新たな体制がスタート
- 3 THANKS(サンクス)運動関連記事
「第1回地域窓口相談員連絡会」等
- 4 特集「災害時の福祉支援体制の構築に向けて」
「沖縄県災害派遣福祉チームの発足」
- 6 シリーズ記事「ふくし&OO」
第2回「ふくし&生活支援員」
- 7 福祉の仕事 職場説明・面接会のご案内 他
- 8 第32回全国健康福祉祭和歌山大会の報告 他
- 10 「りゅうちょう子どもの希望募金」受付中 他
- 12 インフォメーション、寄付者芳名、表紙の絵 他



広報紙「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を充てております。

新年のあいさつ



社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会
社会福祉法人 沖縄県共同募金会

会長 湧川 昌秀

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心から御慶び申し上げます。

昨年は、全国各地で住民生活に大きな影響を及ぼす災害が数多くありました。被災されました方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

また、本県においては首里城正殿などが火災により焼失し、県民のみならず国内外の多くの方が心を痛めました。しかしながら、その後、首里城復興を願う支援の輪が県内をはじめ、国内外に広がりを見せたことは、希望の光を見た気がいたしました。

さて、今日の社会福祉をめぐることは、就労状況や心身の状態、地域社会との関係性などの様々な事情を背景として、生活困窮や虐待、社会的孤立などの複合的な課題が増加しており、大きな社会問題となっております。

こうした中、国においては、「地域共生社会の実現」を掲げ、包括的支援体制の構築を目指しています。県におきましても、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を基に、「誰一人取り残さない、沖縄らしい優しい社会」の実現に向け各福祉施策を展開しております。

これらの動向を踏まえながら、沖縄県社協では、関係機関との連携を図りつつ、「THANKS（サンクス）運動」地域の人々が明るいネットワークを築き、支え合う社会を目指して」のさらなる推進に取り組むとともに、「沖縄県社協第4次地域福祉活動総合計画」の着実な実施により、本県の社会福祉活動の向上に邁進する所存でございます。

さらに、複雑・多様化する社会福祉課題解決に向けた取り組みを財源的に支える「赤い羽根共同募金」につきましても、一層の発展を進めてまいります。

年の初めにあたり、県民の皆様のみならずの御健勝と御多幸を祈念申し上げますとともに、社会福祉に対する尚一層の御理解と御協力をお願い申し上げ、新年のごあいさついたします。

令和2年元旦

沖縄県民生委員児童委員協議会

会長・副会長を決定し、 新たな体制がスタート

去る12月18日、沖縄県民生委員児童委員協議会の臨時総会が県総合福祉センターにおいて開かれました。

臨時総会では、12月の一斉改選を受け、県内の単位民児協会長及び市町村民児協会長が出席し、新役員の選出が行われました。その後、選考委員会による選考のもと正副会長が選出され、総会の承認を得て、決定されました。

会長に再任された藏當博文氏からは、「会長として4期目を迎えることになりました。県内の各地域で活動される民生委員・児童委員の声に寄り添いながら、県民児協の活動に取り組んでいきたいと考えています。皆さまの御協力よろしくお願ひします」との挨拶があり、新たに副会長に就任した4名の役員と共に、新体制での活動をスタートさせました。



(左から) 兼城和夫副会長(八重瀬町)、満名悦子副会長(名護市)、藏當博文会長(うるま市)、呉屋良武副会長(宜野湾市)、眞榮城嘉政副会長(那覇市)

「地域の人々が明るいネットワークを築き支え合う社会」を合言葉にはじまったサンクス運動。地域社会が変動する中、支え合う社会を築く多様な活動が行われています。サンクス運動関連記事では、そんな活動に活躍する団体や人物を紹介します。

●「第1回地域窓口相談員連絡会」

西原町社会福祉協議会（大城幸哉会長）は、県社協からの3年間の指定事業「社会的孤立対策モデル事業」終了後も、独自事業として「地域相談窓口の設置」を推進しており、町内27自治会（令和元年10月現在）に地域相談窓口を設置し活動を展開しています。各自治会で活動が行われている地域相談窓口の情報共有を目的とした連絡会には、各地区の自治会長や民生委員ら約40名が参加し、それぞれの活動について報告が行われました。

た、平園自治会からは「寝たきりの高齢者の見守りを行っていたが、その中で町包括支援センターと連携が必要と判断し、連携をとり状況把握を行い、公的サービスを利用して現在はデイサービスに通って元気にしている」等の成果報告がなされました。

その他にも学校との連携や自治会同士の連携などの報告もあり、それぞれ関係機関との連携がスムーズに行われたとのことでした。

この3年間の活動成果として、地域力の向上と町内における住民主体の地域福祉活動の推進が図られたと感じられる会でした。



●にしはら地域応援隊

西原町内で活動する「にしはら地域応援隊」（以下「応援隊」という）は「人と人や社会資源を繋ぐ役割となる」ことを目的に平成30年8月に発足されました。

応援隊は、西原町内の介護事業所職員約20名で構成されています。毎月1回、町内の自治会の公民館に出向いて健康体操や体力測定、健康講話などメンバーの専門業務を活かした取り組みを行っています。



▲連絡会の様子



▲にしはら地域応援隊メンバー

呼びかけ人である介護老人保健施設池田苑の前田耕平さんは「地域住民と一緒に何ができるか」を常に念頭に置き、「地域住民の方々が何を求めているのかを知ること」などを継続してきたことで「地域住民との信頼関係が構築され、顔の見える関係ができた」と活動の成果を語り、幸地クリニック・デイケアの兼次洋子さんは「気持ちにゆとりや優しさが生まれ、地域活動の必要性に気づけた」と

述べられました。

また、「にしはら地域応援隊テーマソング」の製作や行政、西原町社会福祉協議会、学校との連携強化に向けて取り組んでおり、ますますの活躍が期待できる団体です。

◆メンバーの所属先

幸地クリニック・デイケア／リハプライド西原デイサービス／
デイサービスもりのほな／デイサービス孫の手／介護支援センター朝貴／デイサービスはなまる／介護老人保健施設池田苑／
介護老人保健施設池田苑デイケア／デイサービス糸／
となりのカイゴ屋さんココカラハピネス／アドベンチストメディカルセンター／サトウ株式会社
(順不同)

災害時の福祉支援体制の構築に向けて ～沖縄県災害派遣福祉チームの発足～

離島が多く存在する沖縄県は、大規模災害時にはその離島支援をはじめ、本土から応援到着までに相当の時間を要する等の特有の課題があります。そのような中、災害時における高齢者や障がい者・子ども等の要配慮者への適切な避難対応及びその後の生活支援体制の整備は、より重要な課題でもあります。県社会福祉協議会では、災害時における、こうした要配慮者への支援体制構築に向けた取り組みの一つとして、福祉の専門職による災害派遣福祉チームの育成に取り組んでいます。今回の特集では、災害派遣福祉チームについて紹介いたします。

避難所生活における二次被害

平成23年3月に発生した東日本大震災では、避難所生活における肉体的・精神的疲労や不衛生などが原因により、避難後に死亡する「震災関連死」が3,700名にのぼったとされています（復興庁HPより）。災害時、多くの方が避難する一般避難所においては、高齢者や障がい者、子ども等の要配慮者が長期間の避難生活により、過度のストレスだけでなく、持病の悪化や要介護度の重篤化などの二次被害が生じ、最悪の場合、死亡に至る深刻な問題が発生しました。

こうした課題に対応すべく、全国的な取り組みとして、厚生労働省のガイドラインに基づき、主に社会福祉法人に所属する社会福祉士や介護福祉士・保育士等の福祉専門職が、災害派遣福祉チームをつくり、各避難所において要配慮者の避難生活を支援する体制の構築が都道府県単位で始まりました。

沖縄県災害派遣福祉チーム「DWAATおきなわ」が発足

このように社会福祉士や介護福祉士等の福祉専門職で編成するチームのことを、DWAAT（ディーワット）と呼びます。英語のDisaster Welfare Assistance Teamの頭文字を取り、DWAATと表記します。福祉専門職が4名から6名で1チームを編成、一般避難所等に避難している要配慮者が、二次被害により生活状況が悪化しないよう、生活全般の支援や相談対応等を状況に応じて行います。

県社協では、県から委託のもと「DWAATおきなわ」の養成を進めています。去る11月、県災害派遣福祉チーム員登録・養成研修を実施しました。講師は桑原英文氏（福祉防災サポートオフィス未来代表）と宮道喜一氏（NPO法人まちなか研究所わくわく事務局長）。2日間の研修を終えた、チーム員総勢40名が、DWAATおきなわの第1期メンバーとして登録されました。



▲講師の桑原英文氏



▲グループ形式での議論

2日間の研修では、災害に関する専門的な知識の習得だけでなく、実際に起きた過去の事例から避難所において起こりうる被災者の生活問題の洗い出しとその支援方策をグループ形式で議論するなど、活動現場と実践を想定したプログラムに取り組みました。

チーム員として登録するには

県災害派遣福祉チーム員として登録するためには、次の①②③を満たす必要があります。

- ① 左記の国家資格等に基づく業務、もしくは対象職種の業務を3年以上経験していること

区 分	名 称
国家資格又は公的資格	社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、介護支援専門員、ホームヘルパー
職 種	相談支援専門員、介護職員、生活相談員、生活支援員、地域包括支援センター職員、児童指導員

- ② 所属する法人・福祉施設等の所属長の承認を受けること
- ③ 沖縄県災害派遣福祉チーム員養成研修及びチーム員登録

要領に基づく登録研修を受講すること

以上の3点を満たすことでチーム員として登録されます。

災害発生時の

DWATおきなわ

派遣までの流れ

災害救助法が適用されるような大規模災害時において、一般避難所を設置する市町村行政から、県へ派遣要請があった場合、県はその要請に基づき、DWATおきなわ派遣の可否を判断します。県社協では、県からの派遣要請に基づきチームの編成と、職員を派遣する社会福祉法人等との調整事務を担います。

派遣される職種は、各避難所の求めに応じて決められます。派遣期間は移動日も含めて、1チームにつき5日間程度を想定。原則として県内の一般避難所等へ派遣されます。また、実際の派遣先においては、避難所等の現場で活動がスムーズに行えるよう、チームの後方支援業務を担当する職員も帯同します。

チーム編成にあたっては、登録研修を修了した登録者の

中から、指定された期間に職員を派遣できるかどうか、登録者が所属する法人代表者の判断のもと、派遣チームに参加できます。

派遣後、活動の柱は、①被災者の福祉ニーズの把握と相談対応、②福祉施設等に設置さ

れる福祉避難所への誘導、③避難所の（衛生面も含む）生活

環境の改善、④被災者への直接的・応急的なケア（介護・保育等）の4つ。福祉専門職の強みを活かし、必要であれば避難所外からも必要な社会資源を調達することも想定されます。

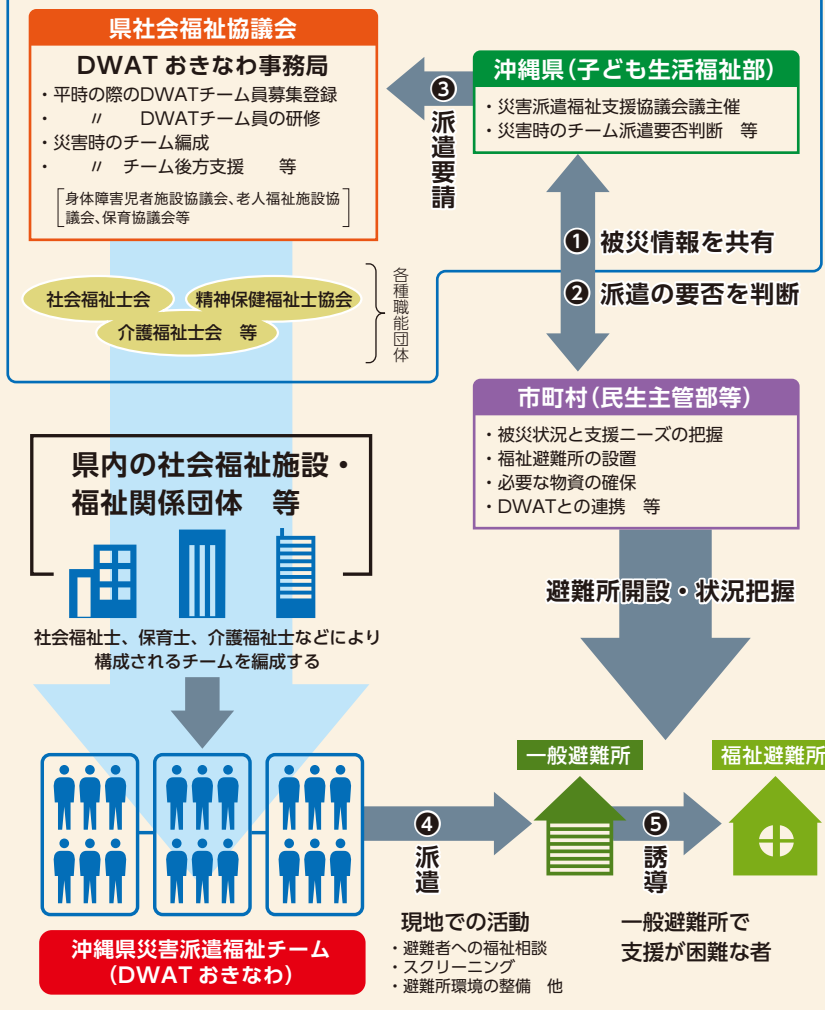
災害VCとの連携

災害発生後、社会福祉協議会が担う重要な役割の一つに「災害ボランティアセンター」（以下、災害VC）の設置・運営があります。災害VCには、避難所、在宅に関わらず、被災者の生活ニーズに関する情報が多く集まります。こうした

(*県福祉政策課資料から抜粋)

災害時における DWAT おきなわ派遣までの流れ

災害派遣福祉支援協議会



DWATに関する
お問い合わせ
県社協・施設団体福祉部まで

社会福祉法人をはじめ福祉事業に携わる方々には、この事業の趣旨と必要性についてご理解をよろしく願っています。

全国各地で発生する大規模災害に対し、DWATに寄せられる期待は次第に大きくなってきています。全国社会福祉法人経営者協議会によれば、全国22の府県においてDWATの組織化が進んでいます。本県では、この取り組みはスタートしたばかりですが、チーム員のスキルを高めていく取り組みも進めて参ります。

災害VCと災害派遣福祉チームの活動が連携し、情報を共有することにより、被災者支援活動の効率化だけでなく、様々な理由で避難所へ身を寄せることができない、在宅や車中泊等による生活を余儀なくされる要配慮者へ、支援の手を差し伸べることも可能になります。

ふくし & ○○

このコーナーでは、地域福祉を応援する様々な取り組みを紹介しています！

第2回

ふくし & 生活支援員

福祉サービス利用援助事業では、認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方が地域で生活していくために必要な、福祉サービスの利用のお手伝いや日常的な金銭管理の支援等を行っています。直接対応するスタッフには利用希望者等からの相談を受け、支援計画書の作成や契約を担当する本事業の専門員と、専門員が作成した支援計画に沿って、実際に銀行での手続きや公共料金の支払いのお手伝い(支援)を行う生活支援員が配置されています。

今回、八重瀬町で生活支援員として活動されている、兼城秋男さんから話を伺いました。(生活支援員歴7年)

「生活支援員になったきっかけ」を教えてください。

兼城…これまでサラリーマンで働き定年を迎え、趣味の家庭菜園を始めました。自由に時間のやりくりができる中で、何か自分にできる活動を地域でやってみたいと思い、経験はありません

んでしたがボランティアに興味があったので、「生活支援員募集」のポスターを見て、その場で社協へ連絡しました。

「生活支援員のやりがい」は何ですか。

兼城…活動当初は、利用者とのコミュニケーションを取るのに時間がかかり、自分にできるか不安がありました。利用者をサポートすること、自分のことを知ってもらうことを心掛けながら支援の回数を重ねるうちに、徐々に会話が広がるようになりました。利用者からプライベートなことを話してもらった時は、「信頼感」が生まれたと感じ、嬉しく思いました。

「生活支援員に興味のある方へ」

兼城…金銭を扱うことへの不安があるかと思いますが、大きな負担を感じることはなく、相手に対して自分自身を知ってもらうことで不安は解消でき、利用者との信頼関係も築けてくると思います。

今後生活支援員として活動する仲間が増え、支援が必要な方々の地域生活をサポートできる取り組みが広がっていくことを期待しています



▲兼城 秋男さん
八重瀬町社会福祉協議会
生活支援員

平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために！

プラン① 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

◆クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) 改定

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン② 施設利用者の補償

プラン③ 施設職員の補償 改定

プラン④ 社会福祉法人役員等の補償

福祉の仕事

職場説明・面接会

2020.2／8(土) @沖縄国際大学体育館

13:00～17:00(開場 12:30)

(宜野湾市宜野湾 2-6-1)

主催：沖縄県、沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター、看護市社会福祉協議会 福祉人材バンク

共催：沖縄労働局(ハローワーク)、全国社会福祉協議会、沖縄県保育士・保育所総合支援センター

後援：厚生労働省、沖縄県看護協会、沖縄県キャリアセンター、沖縄県大学就職指導研究協議会、沖縄県専修学校各種学校協会、沖縄県女性就業・労働相談センター

プログラム

12:30 開場・受付



13:00-13:45 就職応援セミナー



14:00-16:00 職場説明会



16:00-17:00 面接会・フリータイム

「高齢」「障がい」「児童・保育」の 福祉施設・事業所が集まる職場説明・面接会

- 県内約 80 法人が参加予定
- 希望する求人があれば即日面接可能(要履歴書)
- 無資格・未経験の方も応募可能な求人数

法人ブースの他にも相談コーナーが充実！

- ◆ 福祉のお仕事相談
- ◆ 介護士・保育士の修学資金等貸付相談
- ◆ 高齢者向け就職相談
- ◆ ハローワーク出張相談

お問い合わせ

(福)沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター

TEL:098-882-5703(國吉、中村、宮城) FAX:098-886-8474

昨年度は受験資格が大幅に改定されたことにより、改定前の平成29年度と比べて受験者数(1,943名↓702名約63%減)、合格者数(318名↓53名約83%減)ともに大幅減少しました。

試験日:10月13日
受験者数:696名
(試験当日出席者数)
合格発表:12月3日
合格者数:104名(14.9%)

県社協では、沖縄県より試験実施機関として指定を受け、毎年10月に本試験を行っています。介護支援専門員として従事するには本試験を合格し、実務研修を修了したうえで都道府県の登録を受ける必要があります。

今年度は受験者数が微減した一方で合格者は約2倍に持ち直しました。しかし、平均250名が合格していた受験資格改定前に比べても少なく、介護支援専門員の人材確保が難しい状況が続いています。

県内においては現時点で既に高齢化率21%の超高齢社会を迎えており、団塊ジュニアが65歳以上になる令和16年(2035年)には28%に上ると予想されています。それに伴い、県内における人材不足への対応がより一層求められます。本会では今後試験合格に必要な力を養成するセミナー等を実施する等、介護支援専門員人材の確保を図る予定です。

県社協・福祉人材研修センターでは、受験資格に関する各種ご質問等を受け付けております。気になる受験資格等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

令和元年度

沖縄県介護支援専門員実務研修受講試験
合格者数の報告

受験資格等に関する問い合わせ先：福祉人材研修センター(ケアマネ試験担当) TEL:098-882-5703



第32回全国健康福祉祭和歌山大会

ねんりんピック紀の国和歌山2019

「あふれる情熱 はじける笑顔」

「ねんりんピック」の愛称で

親しまれている「全国健康福祉祭」が11月9日から12日にかけて和歌山県で開催されました。和歌山市を中心に、21市町で27種目のスポーツ・文化交流大会や美術展等が行われ、全国から約1万人もの選手が集まり、大会期間中の参加者は延べ約56万人（観客含む）と発表されました。



▲県選手団結団式の様子【那覇空港 2階ウェルカムホール】

沖縄県からは16種目106

名の選手が派遣されました。また、美術展には昨年度（第10回）沖縄ねんりんピックからゆし美術展において6部門の上位作品（12作品）が展示され、多くの方が鑑賞しました。

●総合開会式（9日）



▲入場行進の様子【紀三井寺公園陸上競技場】

和歌山県紀三井寺陸上競技場にて、9日に行われた総

合開会式では、沖縄県選手団を先頭に、入場しました。沖縄県は大城朝隆選手【ソフトバレーボール競技】が旗手を務め、県選手団は蘭（デンファレ）の花束【県農林水産物販売促進協議会より無償提供】を掲げ、元気よく入場し、玉城勝子選手【ソフトバレーボール競技】が、来場者に沖縄県選手団を紹介しました。大会期間中は天候にも恵まれ、各地で交流の輪が広がりました。

●主な競技結果

【個人の部】

マラソン女子（70歳以上）
5 km 与那覇ヨシ子 優勝

【団体の部】

ダンススポーツ 10 位
ボウリング（チーム戦） 8 位

●美術展出品結果

【書部門】

銀賞

新垣 恵津子（李太白詩）

●次年度開催・岐阜県

第33回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2020）2020年10月31日（土）～11月3日（火）開催予定

沖縄県かりゆし長寿大学校大運動会開催

11月2日、沖縄県総合運動公園（レクリエーションドーム）において、第28回沖縄県かりゆし長寿大学校大運動会が行われ、第29期生189名が参加しました。



て」では、各学生が息を合わせたプレーを見せました。

午前最後の競技となった「親子三代リレー」では、子からバトンを受け取った後、孫と一緒に走り、嬉しそうにゴールを目指す学生の様子が印象的でした。

昼食時間前に、各曜日・学科をチームとした応援合戦が行われ、午後の競技に向けてさらなる盛り上がりを見せました。昼食後の「フォークダンス」では、照れながらも懐かしい曲に体を揺らし、楽しそうに踊る学生の笑顔が輝いていました。

午後の見せ場となった「男女混成ペアーリレー」では、各学科から選ばれた学生が持ち前の力を発揮し、運動会最大の盛り上がりを見せました。

各競技を通し、各学科、同期生とのチームワークを深めた運動会となりました。

【結果】

優勝（木曜）地域文化学科
準優勝（木曜）健康福祉学科
三位（火曜）地域文化学科



学生募集

令和2年度(第30期)
沖縄県かりゆし長寿大学校

高齢者の生きがい・健康づく

りと社会参加の促進、地域活動の担い手を養成することを目的に、令和2年度(第30期)かりゆし長寿大学の学生を募集します。

◆受講期間

令和2年4月から令和3年2月までの約1年間

◆募集人員

左表のとおり

(※各学科の募集人員64名中10名は市町村社協からの地域推薦枠とする)原則として週1回(火曜日または木曜日)午前10時から午後3時まで。

学 科	募集人員		合 計
	火曜日コース	木曜日コース	
地域文化学科	32名	32名	64名
健康福祉学科	32名	32名	64名
生活環境学科	32名	32名	64名
合 計	96名	96名	192名

◆応募資格

- ①県内に居住し、令和2年4月1日以前に満60歳に達している者
- ②健康で地域活動を行う意欲があり、全期間通じて受講できる者

③本校卒業生は除く

◆募集期間

令和2年2月3日(月)から令和2年2月28日(金)(受付)午前9時～午後4時
(土日祝祭日、2月27日【卒業式】を除く)

◆受講料

年間：1万5000円

※事務手続き等に係る諸経費、学習に係る教材費、その他課外活動等に係る諸経費については、別途自己負担となります。(令和元年度クラブ活動費負担額1万7000円～3万円)

◆お問合せ

沖縄県社会福祉協議会
いきいき長寿センター
☎098(887)1344



▲講義風景
3学科合同『救急法・AED』

第13回「介護の日」講演会 「ふまじめ介護講談」

11月11日の「介護の日」

にちなみ、県社協・介護実習普及センターでは西原町さわふじ未来ホールにて、女流講師の田辺鶴瑛氏による講演会を11月15日に開催しました。



▲講師の田辺鶴瑛氏

田辺氏は、10～20代で経験した実母の介護を「ひとりぼっちだった」。30代で経験した義母の介護を「家族みんなで介護できたが頑張りすぎた」。そして3度目に経験した認知症の義父の自宅介護で落ちこんでいたときに周囲の人がかけて

くれた言葉が「介護は頑張るにすぎたわけではない」「介護は自然体でいることが大切」ということに気づかせてくれた。夜中に30分おきに起こされフラフラだったこともあったが、「完璧な介護はしなくて良い、ふまじめにいいこう」と決意した後は義父に呼ばれると「今日はどんな芝居をしていいか。と楽しむ余裕ができた」と話しました。



▲講演会の様子

講演会ではDVD上映もあり、義父の介護の様子も紹介されました。

来場者の声

「認知症の『忘れる』という特性を活かして介護に取り組んだ方が良いという言葉が印象的でした」

「自分(介護者)が心身ともに健康であればこそ介護はできるのだと強く感じました」

「学校では介護を仕事としてどのような心構えで向き合うかを考えさせられるが、講演では家族の視点で話を聞くことができて勉強になりました」等の声が寄せられました。



▲講演会の様子

お問合せ

沖縄県介護実習・普及センター
TEL: 098(882)1484
FAX: 098(882)1486



—子どもたちの学びと育ちを支えたい— 「りゅうちゃん子どもの希望募金」受付中



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

「りゅうちゃん子どもの希望募金」とは

りゅうちゃん子どもの希望募金は、琉球新報社が2016年から紙面で連載した沖縄での子どもの貧困の特集記事への反響を受け、子どもたちの学びと育ちを支援する取り組みとして始まりました。その後、県共同募金会と連携した募金となり、今年で5年目をむかえます。

集まった募金は、県内の子どもたち誰もが、学べる場、みんなと一緒に成長できる場づくりのために使うこととしています。

5年間の募金額
約2千700万円

これまでに本募金によせられた寄付は総額で約二千七百十七万円余となりました。

毎年集められた募金をもとに、子どもの学びや育ちを支援している団体へ延べ71箇所、児童養護施設を卒業する子どもたちの就学・就職支援金として97名へ助成されています。

今年度もご協力を
お願いします

沖縄県の調査では依然として子どもの相対的貧困立が高いことが明らかになっています。

沖縄県共同募金会と琉球新報社は引き続き、子どもたちの学びと育ちをサポートとしていくため募金と助成と継続して進めていきます。※受付口座は左記のとおり。

銀行名	支店名	種類	口座番号
琉球銀行	石嶺	普通	476739
沖縄銀行	石嶺	普通	1550468
沖縄海邦銀行	汀良	普通	0264480
沖縄県農業協同組合	首里	普通	0047634
コザ信用金庫	安里	普通	0019262

口座名義【各金融機関共通】
シャカイフク シ ホウジンオキナワケンキョウドウ ボ キンカイ
社会福祉法人沖縄県共同募金会 カイチョウ ワクガワ マサヒデ
会長 湧川 昌秀

ネットから共同募金への寄付がさらに利用しやすくなりました

中央共同募金会のサイト「ふるさとサポート募金」ページからクレジットカード等決済で寄付ができます。



ふるさとサポート募金
は、インターネットで自分のふるさとや好きなまちに寄付ができるしくみです。
寄付先の選択は全国すべての市区町村から選ぶことができます。ほかに、地域の困りごと解決をテーマにした取り組みへ選んで寄付先を決めることもできます。

受付中の募金をいつでも確認することができます。ほかに中央共同募金会からのお知らせ等を見ることができます。
スマートフォンからもご覧になれます。
左記QRコードをご利用ください。





共同募金への寄付方法のご紹介

～受配者指定寄附金制度と遺贈寄付について～



共同募金会は、税制上、国や地方公共団体と同じように、「税制上の優遇措置の対象団体」になっています。その理由として共同募金は社会福祉法によって位置付けられた運動であり、共同募金の助成が社会福祉増進に寄与していることなどがあげられます。

共同募金会では「税制上の優遇措置の対象団体」であることを活かし、県民や企業の皆様から多様な寄付の受け入れが出来るよう取り組んでいます。

企業の皆様へ

【受配者指定寄附金制度について】

受配者指定寄附金制度とは、社会福祉法人など特定の法人とその用途を指定して共同募金会へ寄付した場合、税制上の優遇措置を受けることができるものです。

特定の法人とは社会福祉事業等を行う法人で、寄附金の用途は土地購入費や施設新築・増改築費などで、かつ緊急に資金が必要場合などの条件を満たす必要があります。

共同募金会では上記を満たしたうえで、寄附者と受配者双方の身分関係や契約関係等の審査を行います。（※審査は県共同募金会と中央共同募金会にて行います。審査手数料がかかります。）

詳しくは沖縄県共同募金会までお問合せください。

概要図



個人の皆様へ

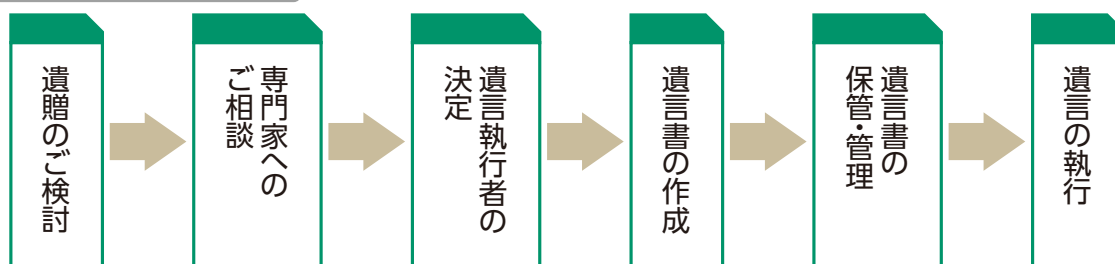
【遺贈寄付について】

共同募金会では、ご遺贈や、相続された遺産を地域の社会福祉のためにご寄付されたいというお申し出をお受けしています。皆様からお預かりした貴重な財産を地域の福祉課題解決のために役立てることができます。相続された遺産を共同募金会に寄付された場合、その分の相続税は非課税になります。中央共同募金会ホームページでは遺贈・相続寄付の案内パンフレットをダウンロードすることができます。

中央共同募金会「遺贈・相続寄付のご案内」 <https://www.akaihane.or.jp/izou/>



遺贈寄付までの流れ（例）



共同募金への寄付は、税制優遇措置の対象です。詳しくはホームページをご覧ください。

寄付・寄贈者芳名 (9月1日～11月31日) 御寄付・御寄贈いただき、誠にありがとうございました。

※本会への寄付については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは総務企画部まで



▲福山グループ様(9.20)
【写真左から2番目】 福山商事株式会社
専務取締役 福山 照彰 様
【写真左から1番目】 同社 紙業部二課 課長 上里 安徹 様
【写真右から2番目】 本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】 本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲合資会社 沖縄実業様(9.10)
【写真左から2番目】 合資会社沖縄実業
営業二部部長 宮里 研作 様
【写真左から1番目】 同社 総務部次長 国場 隆志 様
【写真右から2番目】 県子ども生活福祉部長 大城 玲子 様
【写真右から1番目】 本会 会長 湧川 昌秀



▲沖縄タオル工業株式会社様(9.2)
【写真左】 沖縄タオル工業株式会社
代表取締役社長 東風平 朝秀 様
【写真右】 本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲公益社団法人 沖縄県宅建物取引業協会様(11.15)
【写真右から2番目】 沖縄県宅建物取引業協会
会長 知念 聡 様
【写真右から1番目】 NPO法人メッシュ・サポート
理事長 塚本 裕樹 様
【写真左から2番目】 沖縄県交通道児育会
理事長 坂名城 泰山 様
【写真左から1番目】 本会 会長 湧川 昌秀



JTB協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会・JTBレキオス会(10.18)
【写真右】 JTBレキオス会
会長 大城 宗直 様
【写真左】 本会 事務局 高良 正樹



▲一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会
青年部会様(9.24)
【写真左から2番目】 沖縄県電気管工事業協会青年部会
部会長 新垣 昌彦 様
【写真左から1番目】 同会 副部会長 高江洲 昌太郎 様
【写真右から2番目】 本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】 本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲島袋 清助様(11.20)
【写真左から2番目】 島袋 清助 様
【写真左から1番目】 西原 徳一 様
【写真右から2番目】 本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】 本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲國和会様(11.20)
【写真左から3番目】 國和会 副会長 玉城 徹也 様
【写真左から2番目】 國和会 専務理事 金城 竜治 様
【写真左から1番目】 國和会 事務局 島袋 准 様
【写真右から2番目】 本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】 本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲糸嶺 篤秀様・糸嶺 正美様(11.19)
【写真左から2番目】 糸嶺 篤秀 様
【写真左から1番目】 糸嶺 正美 様
【写真右から2番目】 本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】 本会 常務理事 嘉陽 孝治

どうしたらいいかわからない君のための人生の歩き方図鑑

「学校に行っていないから、大人になってもマトモな仕事に就けないかもしれない」「家が貧乏で、進学するお金がない」「LGBTかもしれないので、この先の将来が漠然と不安」「何をしても親に殴られる、叱られるので、生きているのがつらい」など、いろいろな悩みを抱えて、「どうしたらいいんだろう」と途方に暮れていませんか?本書は、これまでも児童虐待やいじめなど、子どもの問題に向き合った作品を多く発表してきたノンフィクション作家の石井光太さんが、そんな「どうしたらいいのかわからない」10代のために、悩みや抱えている問題の解決方法をまとめた1冊です。悩みを抱える本人はもちろん、そのご両親や、教育・福祉の仕事に携わっている人にもぜひ手に取ってほしい「子どもの人生のガイドマップ」です。

著者：石井 光太
出版社：日本実業出版社



社会福祉ライブラリーから
本の紹介

編集後記

表紙の作者の宮里衛さんの今を楽しむという言葉が心に残り、それを日々積み上げ、今年一年、良い年にしていきたいと思いました。

宮里さんが写真に出会ったのは70歳を過ぎた頃、趣味を見つけたため、写真教室に通い始めたのがきっかけだそうです。その後はかりゆし長寿大学のフोटokラブに所属し、講師や学生間でお互いの写真を講評しあいながら、その技術を高め合っているそうです。

「どうという構図で撮影するか、そしてそれをどう形にしていくな、日々研究しています」と宮里さん。ご自宅には、作品の写真だけでなく、たくさんのお孫さんの写真も飾っており、「今を楽しむ」宮里さんの「形」を垣間見ることができました。

表紙の絵



作品名 明日へのメール
作成者 宮里 衛さん